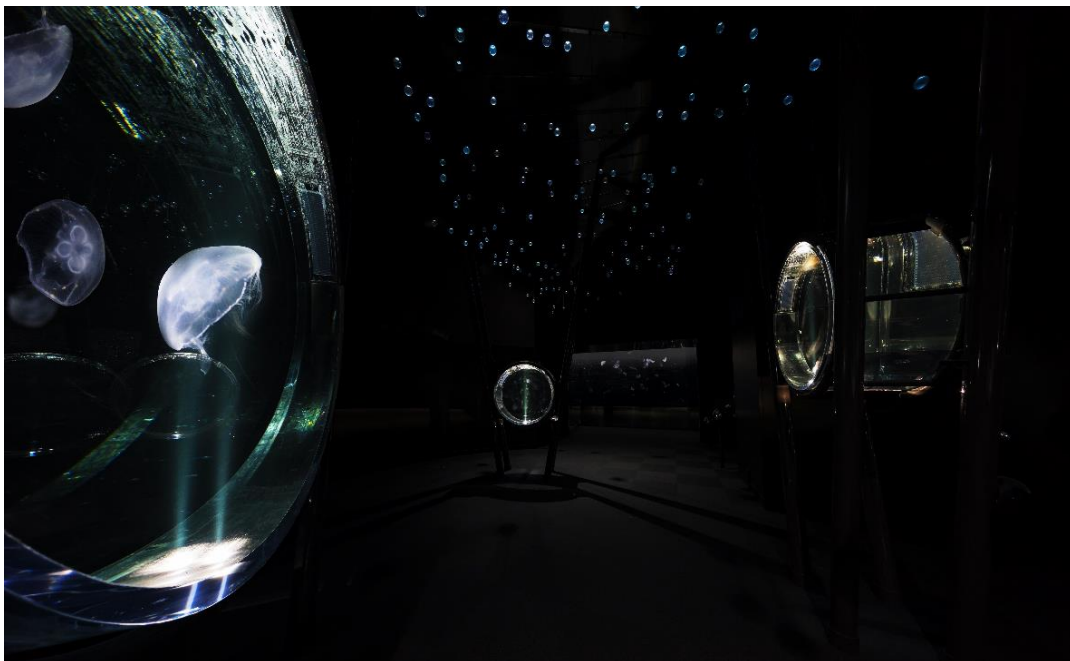


海遊館の新しいクラゲエリア

くらげぎんが
3月17日(土)「海月銀河」オープン！

～メディア関係者向け撮影会を3月16日(金)に開催します～

海遊館（大阪市港区）では、平成 30 年 3 月 17 日（土）、新しいクラゲエリア「海月銀河」をオープンします。（平成 30 年 1 月 10 日 情報提供済）。「海月銀河」は、クラゲだけが浮き上がる漆黒の空間で、クラゲのやわらかい動きや繊細な美しさをご覧いただき、さらに空間全体でクラゲの魅力を表現する海遊館の新しいエリアです。海中を漂いながら暮らすクラゲの生命の神秘と不思議に浸っていただき、地球に暮らす多様な生き物に興味を持っていただける機会をご提供できればと考えています。



一般公開に先駆け、前日の平成 30 年 3 月 16 日（金）に、メディア関係者向けの撮影会を開催します。

「海月銀河」は、明るさを抑えた特別な空間となっていることから、通常海遊館内より撮影に配慮が必要と考えています。そのため、一斉にご案内するのではなく時間帯を分けてご案内させていただきたいと考えております。詳しくは、海遊館広報チームまでご連絡ください。

海遊館広報チーム 06-6576-5529

1. 「海月銀河」について

—クラゲの美しさを最大限に引き出す—

クラゲは「癒される」「きれい」「時間を忘れる」など、水族館で人気のある生き物です。海遊館では、クラゲの美しさを引き出すために、照明を最小限におさえ各水槽に一筋の照明を入れています。その光の筋をクラゲが通るとき、透き通る繊細なクラゲの姿が美しく浮かび上がります。また、その浮かび上がるクラゲを際立たせるために、周囲の壁や天井、床などの色を漆黒にしました。この他にも、天井照明や、種名板に丸みをもたせ、空間全体でクラゲを想起させるつくりになっています。



海遊館が手掛けた新たなクラゲの展示手法を通し、多くの方にクラゲの美しい姿をご覧いただきたいと考えています。

オープン日	平成 30 年 3 月 17 日（土）常設展示
展示総面積	166.4 平方メートル
総水量	約 16t
水槽数	12 基（別途小型水槽あり）
展示種数	約 10 種
クラゲ展示	1999 年（平成 11 年）7 月 16 日 ふあふあクラゲ館設置 2017 年（平成 29 年）9 月改装工事開始 11 月全面閉鎖 2018 年（平成 30 年）3 月 17 日「海月銀河」オープン

2. クラゲの魅力

—漂い浮遊する生命の不思議—

クラゲは、深海から淡水、熱帯から北極まで、海の流れに任せて漂う暮らし（浮遊生活）をしています。体の 90%以上が水分で、ゼリーのようにやわらかく、丸みがあり、透明で繊細な姿をしている種類が多く見られます。拍動と呼ばれるゆったりした動きで海を漂うクラゲたちは、地球に暮らす多様な生き物の中でも初期に誕生したと考えられており、静かに暮らしながらも命を繋いできた生命の不思議に気づかせてくれる生き物です。



3. クラゲの魅力を追求めた「海月銀河」

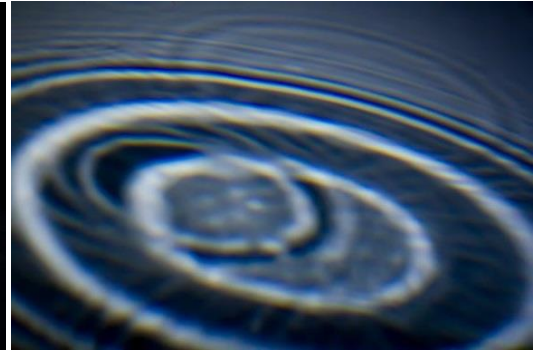
—導入部—

海遊館のメイン展示「環太平洋を巡る海の旅」を終えると、今回新たな演出を施したエスカレーターが「海月銀河」へと誘います。4階から3階へと移動する間、天井には星空のような穏やかな光が広がり、新しいクラゲエリアへの期待感を煽ります。ここからが「海月銀河」のスタートです。



—せいひつかん静謐感—

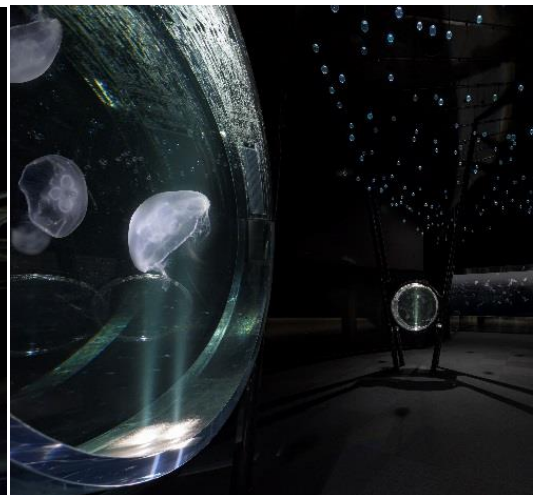
「海月銀河」の最初に登場する水槽は、ユニークな形状と水面に描きだされる波紋の広がり、水と生命を表現しています。静かに映しだされる影の揺らめきが、研ぎ澄まされるような静謐感を演出します。



—浮遊感—

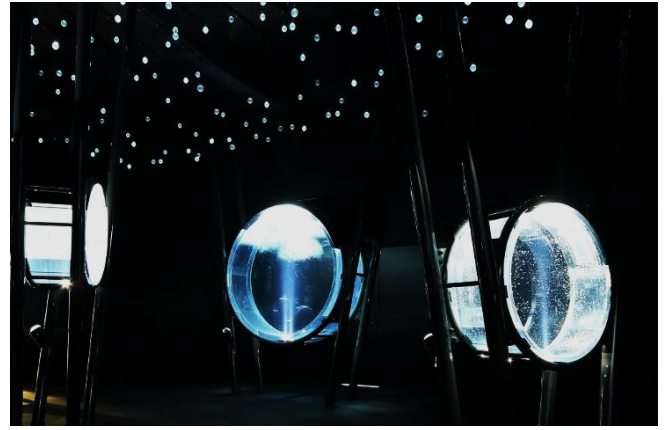
海中を漂い浮遊する暮らし方は、クラゲの魅力の一つです。

「海月銀河」では、この浮遊感を表現するために、水槽の台や配管などをできるだけ見えないように設置しました。これにより、クラゲだけではなく、水槽さえも浮いているような空間になりました。



—包容感—

クラゲの丸くてやわらかい姿とゆったりとした動きは、落ち着いた気持ちにさせてくれます。クラゲのように丸い水槽が浮かぶ空間で、クラゲたちのゆっくりした動きに心から浸ることで、やさしい命に包まれる体感をしていただきたいと思います。



—透明感—

水槽内を漂うクラゲが一筋の光を通るとき、これまでに目に留まらなかった繊細な部分や模様が存在に気づきます。照明装置の種類を探り、角度や明度などのテストを何度も繰り返しました。透明で繊細な生命の世界を発見してください。



—命の拍動—

天井には、約700個の球状照明を海の流れをイメージした円弧状に配置し、海中に浮かんでいるかのようにランダムな高さに吊り下げました。やわらかな光がゆっくりと点灯と消灯を繰り返す様子は、クラゲの拍動を表現しています。この球状照明により、空間全体で「海月銀河」を創り上げています。

